

竹島問題に関する調査・研究等に功績のあった 功労者に対する感謝状贈呈者一覧

※敬称略・五十音順（複数の場合は代表者）

区 分	氏名（年齢）	功 績
啓 発	(故) <small>つねずみ さとし</small> 常角 敏 (隠岐の島町)	<ul style="list-style-type: none"> ・常角敏氏は、島根県竹島問題研究会第2期及び第3期の委員として、竹島に関する学習の一層の充実に取組むとともに、竹島学習資料を掲載した「隠岐の島町ふるさと教育副教材」の執筆編集に携わった。 ・その豊富な経験と幅広い見識により、竹島問題の啓発に先頭に立って尽力されるなど、竹島の教育を飛躍的に向上させた功績は特筆すべきものがある。 ・昨年8月11日に他界された。享年67。
研 究 協 力	<small>ゆぶき しげゆき</small> 雪吹 重之 (50) (松江市)	<ul style="list-style-type: none"> ・雪吹重之氏は、明治39年の島根縣竹島調査団に同行した島根師範学校教諭、雪吹<small>としみつ</small>敏光氏のご子孫として、当時の資料や写真を提供いただいたくなど、調査研究に多大な協力をいただいた。 ・雪吹敏光氏は、専門の博物学の知識を活かし、専門的な観点から9本のレポートを山陰新聞に寄稿した。
研 究 協 力	<small>よしだ ふみあき</small> 吉田 史章 (74) (松江市)	<ul style="list-style-type: none"> ・吉田史章氏は、松陽新報記者の吉田<small>ぎょうせい</small>行精氏のご子孫として、島根縣竹島調査団の資料を提供いただいたくなど、調査研究に多大な協力をいただいた。 ・吉田行精氏は、明治39年の島根縣竹島調査団に同行し、23本、4万字に上るレポートを松陽新報に掲載し、竹島に関する県民の関心を高めた。

* 年齢は2026年2月22日現在

【参考】これまでの感謝状贈呈件数

(件)

	特別表彰	資料提供	研究協力	証言	翻訳	啓発	計
H19. 2. 22	0	5	3	0	0	0	8
H20. 2. 22	0	4	0	4	0	0	8
H21. 2. 22	0	4	0	2	0	0	6
H22. 2. 22	0	1	0	1	0	0	2
H23. 2. 22	0	2	0	2	1	0	5
H24. 2. 22	0	3	0	0	0	0	3
H25. 2. 22	1	2	0	2	0	0	5
H26. 2. 22	0	3	0	2	0	0	5
H27. 2. 22	0	4	0	1	0	0	5
H28. 2. 22	0	1	2	0	0	0	3
H29. 2. 22	0	2	0	1	0	0	3
H30. 2. 22	0	2	0	1	0	0	3
H31. 2. 22	0	2	1	0	0	0	3
R2. 2. 22	0	2	0	2	0	1	5
R3. 2. 22	0	0	1	5	0	0	6
R4. 2. 22	0	1	2	2	0	0	5
R5. 2. 22	0	0	2	1	0	1	4
R6. 2. 22	0	1	2	0	0	1	4
R7. 2. 22	0	1	2	1	0	0	4
R8. 2. 22	0	0	2	0	0	1	3